

2023年度(令和5年度)事業報告書(概説版)

一般社団法人エコエネ技術士ネット
代表理事 栗原 茂

一般社団法人エコエネ技術士ネットは、3年前の2021年8月に中小企業への環境・エネルギー分野での技術支援を行うことを活動の重心に据え、省エネルギー中心からグローバルな脱炭素へ舵を切って事業活動を推進している。

世界情勢は、ロシアのウクライナ侵攻以降イスラエルとパレスチナとの紛争等イデオロギーの対立による混迷の度を深めており、世界の経済・エネルギー・脱炭素への地政学的影響は無視できないものになっている。

一方、気候変動問題は、産業革命前に比べた地球の平均気温の上昇率を1.5度以下に止めるとした「パリ協定」の達成を目標としているものの2023年3月公表されたIPPC第6次統合報告書では2030年代前半にも1.5℃に到達の可能性を警告。12月に行われたCOP28では、明確な各国の削減目標を次回COP29バクーに先送りした。

その様な状況下で、2023年度は下記事業を行った。

実施主要活動

- (1) 令和4年度に引き続き3年目の香川県の「令和5年度香川県地域ESG脱炭素投資促進専門家派遣事業委託業務」を受託し取り組んだ。ちなみに1年目は4事業者、2年目は8事業者、今期の3年目は10事業者と拡大、成果とも言えるCO2排出量削減規模も40倍を超える対応を行った。香川県コンソーシアムを通じた自治体・金融機関・関連団体との連携の成果でもある。専門家集団としての弊組織は、専門家活動・報告システムの変革構築を進め、ほぼその確立が出来た。本業務枠内では、対応した事業者の継続したフォロー、当該事例を活用した地域中小企業への拡大、金融機関の脱炭素人材育成、脱炭素に向け県関係組織連携活動等の課題があり、年度末コンソーシアムで報告・協議した。
- (2) 地域脱炭素活動情報共有の場「2050カーボンニュートラル協議会岡山」3年目を引き続き賛同事業者・組織の参画を得て、それぞれの近況報告会を実施した。
- (3) 若手技術士育成を目指す「技術士受験合格プロジェクト」を立ち上げ、ほぼ月一回(毎月第2土曜日午前中)実施した。3名受講中。若手人材を育成しつつ、自らの組織も資格に恥じない技術専門家としてリフレッシュする機会になっている。そうした活動の結果、1名の専門家が技術士(機械部門)に合格し大きな成果を得ることができた。
- (4) 地域組織連携、以下に主な組織を列挙した。
 - ① 中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議
 - ② 岡山市再エネ導入目標等策定業務に関する専門家会議委員参画
 - ③ 岡山市ゼロカーボン研究会参加
 - ④ 内閣府グリーン専門家人財登録
 - ⑤ 環境省中四国環境事務所
 - ⑥ 日本技術士会(本部 中国本部 岡山県支部)

(5) 気候変動イニシアチブ(JCI)メンバー団体

グローバルかつ日本の気候変動関連情報収集の場になっている。全ての案内講演を聴講した。
継続して連携を図りたい。